

# 施策マネジメントシート ～2019年度の振り返りから2020年度の取組へ～

## ①計画⇒実施 (Plan⇒Do)

(5月中旬に記入)

長期振興計画の位置づけ	まちづくり分野	ひと分野	担当課	社会教育課			
	政策分野	文化・スポーツ	課長名	中里千秋			
	施策	<b>18 社会体育の充実</b>		重点施策の該当	2019	-	2020
施策の目的	対象	市民	意図	スポーツ・レクリエーションを通じて、心身ともに健康的な生活を営むことができる			

### 施策の目標指標

目標指標(単位)	長振策定時		指標の推移			最終目標値	
	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	2019年度実績	2020年度目標値	2021年度目標値	
スポーツ活動に取り組んでいる人の割合(%)	39.7	44.2	41.8	46.0 (45.0)	46.0	47.0	
体育施設利用者数(人)	78,186	84,012	80,005	75,173 (85000)	85,000	85,000	

### 市民アンケート調査の結果(施策に関する重要度と満足度)

平成29年度実績		平成30年度実績		2019年度実績		2020年度実績		2021年度実績	
重要度(%)	満足度(%)								
57.8	29	61.2	29.3	59.6	28.8				
重要度DI	満足度DI								
49.9	19.6	54.7	18.2	51.7	16.6				

### 施策推進のための取組の成果を測る指標

基本事業名	関連戦略No.	成果指標(単位)	長振策定時		指標の推移			最終目標値	
			28年度実績	29年度実績	30年度実績	2019年度実績	2020年度目標値	2021年度目標値	
体育施設の充実		スポーツ活動に取り組んでいる人の割合(%)	39.7	44.2	41.8	46.0 (45.0)	46.0	47.0	
スポーツ・レクリエーションの振興		体育施設利用者数(人)	78,186	84,012	80,005	75,173 (85000)	85,000	85,000	

## ②-1 振り返り(Check)

施策を取り巻く環境変化・市民ニーズ等への対応	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会体育施設の老朽化が進んでいる。今後多くの施設が建物・設備の更新や大規模改修の時期を迎えようとしており、限られた財源の中での老朽化対策は多額の費用が必要となる。これまでの手法から計画的な予防保全にシフトし延命化を図るために、適正な維持保全の方向性を検討すべく各施設ごとの具体的な今後の計画(長寿命化計画)を策定した。財政支出の縮減と事業費の平準化が図られる。なお、随時施設を点検しながら、引き続き安全性・緊急性に十分配慮した修繕等は行っていく。</li> <li>・市民体育祭や駅伝競走大会の参加について、小規模地区からの選手等選出が難しいとのことから、参加要件等見直しを行った。今後も市民総参加の祭りとして柔軟に対応していきたい。</li> <li>・年度末以降、新型コロナウイルス感染症の防止対策のため各種大会等の実施ができない状況が想定される。</li> </ul>	
施策の成果(貢献度の高い事業等)と現状・課題	
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育施設改修事業については、民家への樹木浸食に伴う安全対策として市営グラウンド擁壁改修工事を、また平成30年度の繰越事業として市民体育館の防水工事を行った。</li> <li>・体育施設管理事業については、各施設の利便性の向上に努めるとともに、安全性・緊急性には十分配慮した上で修繕等を行った。例)市民体育館のアリーナ内の壁の所々の破損に伴い、利用者の安全性を確保すべく破損箇所の張替修繕</li> <li>・社会教育施設を対象に、現地調査等を踏まえた老朽化状況の把握・評価を行い、保全優先度を勘案して、今後の適正な維持保全の方向性を検討するための、社会教育施設長寿命化計画(施設個別計画)を策定した。</li> <li>・スポーツ交流合宿誘致事業については、スポーツ競技力向上のため、島外の学生・実業団の合宿を誘致しスポーツ交流を実施している。令和元年度実績は5団体、延べ509人(対前年比△5団体、延べ△763人)となった。対前年比減となった大きな要因は、夏場の合宿が台風等により実施できなかったことである。</li> <li>・市民体育祭開催事業については、ここ数年、中割校区と立山校区としての単独の参加ができていなかったが、今年度は中割校区については古田校区と合同チームによる参加ができた。</li> <li>・駅伝競走大会開催事業については、小規模地域から選手選考が困難であるとの意見から、これまでの15区間から10区間に短縮して実施した。参加しやすい体制を作った。</li> </ul>

施策マネジメントシート ～2019年度の振り返りから2020年度の取組へ～

<p>現状・課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ活動については、人口減少、少子高齢化も相まって、スポーツ少年団、各連盟の競技人口が減少傾向にあるが、競技自体は盛んに行われている。</li> <li>・社会体育施設は建設して30年から40年程度経過し老朽化が進んでいる。これまでの従来の手法から延命化に切り替え、計画的な予防保全にシフトしていくことで、施設を長く使い続けることができる。各種計画等との整合性を図りながら、年次的な改修等を進めていく必要がある。安全性・緊急性を第一に随時、修繕・改修を行っていく。</li> <li>・スポーツ交流合宿誘致事業について、合宿先への移動手段がなく合宿件数が進まない状況であった。また、HP等による情報発信や積極的な誘致活動が弱かった。</li> <li>・各種スポーツ大会に参加できない小規模校区への対応として、プログラムや実施要領等を見直すなど柔軟に対応する必要がある。</li> </ul>
<p>今後の方向性</p>	<p>今後の方向性の根拠等(他施策との連携、総合戦略との関連、環境変化等を踏まえ記入)</p>
<p>継続・現状維持</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「いつでも、どこでも、だれでも」スポーツやレクリエーションに親しみ、幅広く気軽にスポーツやレクリエーション活動を行うことができるよう社会体育施設の充実と適切な維持管理に努める。生涯スポーツをさらに推進すべく、総合型スポーツクラブの組織の充実と支援を行う。</li> <li>・スポーツ交流合宿誘致事業については、令和2年度から交通費の一部を助成をすることで充実が図られた。積極的な情報発信と誘致活動に努める。</li> <li>・社会教育施設の延命化については、上位計画である市公共施設総合管理計画及び第6次長期振興計画の実施計画、財政計画等との整合性を図りながら、質の高い計画とするため必要に応じて見直しを行っていく。なお、安全性・緊急性には十分配慮しながら、随時修繕等は行っていく。</li> </ul>

②-2 政策部会による振り返り(Check)

(6月中に記入)

<p>今後の方向性</p>	<p>政策部会で出された施策に対する意見等(将来像の実現に向けた課題や優先度、市民との協働のあり方など)</p>
<p>継続・現状維持</p>	<p>【教育振興部会】 ○施策担当課の記載する方向性のとおり。</p>